



# 6月 調布幼稚園だより



## 雨の日の歩き方

園長 宮崎 朋子

「明日の朝は、雨の予報です。1年生が入学して初めての雨なので、先生方、朝、余裕がある場合は、玄関に来ていただき、1年生の雨具の始末をしてあげてください。」

これは、私が小学校の校長だったころ、毎年決まって教職員に伝えていたことです。

小学校には、レインコートを掛けるフックがありません。最近の靴箱は大きくなっていますが、長靴を立てたまま入れられない靴箱もあるので、倒して靴箱に入れる場合があります。濡れたランドセルカバーやレインコートを拭くためのタオル也没有ありません。傘は、持ち主がトントンして水滴を落とし、丸めて留めて傘立てにしまいます。当然、手はびしょびしょになります。折り畳み傘を使った場合は、自分で小さくたたまなければなりません。そして、廊下が滑りやすくなってしまいますので、水滴をできるだけ、校内に持ち込まないようにさせます。雨の日はやる事がたくさんあり、困っている子がいるので、大人を配置して、授業に間に合うようにしていました。

また、雨の日の歩き方も要注意です。我が家の息子が小学生時代、ポケモンの新しい傘を差して喜んで登校後、無残に折れ曲がった傘が我が家の玄関に置いてありました。下校時には雨がやみ、鉄の柵に「カンカンカン」と、当てながら歩き、途中で引かかって、折れ曲がったそうです。そして、次の雨の日は、新しい傘を、排水溝の穴にズボズボと差し込みながら帰り、傘の先端が折れ曲がっていました。小学生になった息子に傘の差し方を改めて教えたことを昨日のここのように覚えています。傘は、必要な道具ではありますが、振り回したり、骨を反転させたり、危ない場面も見られます。使い方を教えなければいけない道具の一つです。

### (傘の差し方)

- ・傘を差す時は、周りの様子を確認してから、斜め下に向けて差します。
- ・子ども用の傘は、視界を遮らないビニール部分があります。その部分を前にして差します。
- ・差しているときは、肩にもたせ掛けず、できれば両手で持って、体の中心でまっすぐ差します。
- ・傘の水滴が周りに飛び散らないように、クルクルしないでしっかり持ちます。



### (傘の始末)

- ・傘を閉じるときも周りの様子を見て、少しすばめたら、斜め下におろして完全に閉じます。
- ・傘についた水滴を落とすために、周りに注意しながら、振ったり、トントンとついたりします。
- ・傘が広がらないようにベルトで止めて、傘立てに入れます。

傘を差すときの方法をたくさん記しましたが、調布幼稚園の子どもたちは、とても上手に傘を差しています。また、「上手に傘が差せるね」と、声を掛けると嬉しそうにしてくれます。傘を差すことも子どもたちの自信に繋がります。ぜひ、お子さんと一緒に雨の日に傘を差して出かけてみてください。雨の日、つい足元を見がちですが、長靴で水たまりを楽しんだり、カタツムリを見付けたり、葉っぱの緑が色鮮やかになっていることに気が付いたり、水滴の輝きに見入ったり、雨だからこそ出会える景色があります。安全な歩き方を教えながら、雨の日の楽しさも、子どもたちと一緒に感じて参りましょう。

## 6月の目標

### 全学年

- 身近な初夏の自然に関心を持ち、梅雨の時期の気象を知ったり、栽培物の世話をしたり、収穫の喜びを味わったりする。
- 梅雨の晴れ間を活用し、園庭やグラウンドで教師や友達と体を思い切り動かし心地よさを味わう。
- 水の心地よさを感じ水に親しみ、水遊びを楽しむ。
- プールでの約束を守り、安全に遊ぶ。
- 水の心地よさを感じ水に親しみ、水遊びを楽しむ。

### 年少組

- 同じ場にいる友達に親しみをもつ。
- 担任に親しみを持ち学級のみんなでする活動を楽しめるようになる。
- 自分のやりたい遊びを見付け、自分なりの楽しみ方で繰り返し遊ぶことを楽しむ。
- 生活に必要なことが分かり、衣服の着脱等を自分で行おうとする。

### 年中組

- 担任や気の合う友達とかかわりながら、自分のやりたい遊びを楽しむ。
- 好きな遊びの中で、身近な素材を使って遊びに使うものを作ったり、友達と同じ動きをしたりして楽しむ。
- 好きな運動遊びに楽しんで取り組む。
- ダンゴムシ、アリ、チョウなどの身近な生きものに興味をもつ。
- 色水遊びで、混色を楽しんだり、廃材で作った舟を浮かべたりするなど、水を使った遊びを楽しむ中で、素材の性質に気付く。

### 年長組

- 友達とのつながりを深め、思いを伝えたり、相手の思いも聞いたりしながらイメージをもって遊びを進める。
- 1日の園生活に見通しを持ち、行動する。
- 試行錯誤して遊びや水遊びを進める中で、様々なことに気付いたり、友達と共感したりして楽しむ。
- 友達と遊びを進めていく中でイメージを共有し、友達とのつながりを感じながら遊びに必要なものを作り、作ったものを使って、十分に遊び込む。

## 【外崎 明美先生 ありがとうございます！】

6月17日をもって任期満了を迎え、外崎明美先生が学園参与の職を退任されます。平成22年に本園の園長に着任され、12年間の園長としての職務を終え、令和4年からは顧問に就任し、現在に至ります。その間、子どもたちに「生きる力をはぐくむ」ための教育を積極的に推進し、後進を育てながら調布幼稚園の教育を高めることにご尽力頂きました。

最終出勤日にあたる17日には全園児でホールに集まり、感謝の気持ちをお伝えし歌をプレゼントする予定です。

## 【年長組製作の貼り絵】

### テーマ

「ひとりひとりが花、みんなで咲かせる100年」

調布幼稚園で過ごした一人一人の子どもたちは、それぞれ違う色や形をもつ“かけがえのない花”先生や保護者の方、地域の方々の温かい見守りの中で100年の時をかけて大切に育まれてきました。“みんなで咲かせてきた100年の歩み”と“これから咲き続けていく未来への希望”です。

